

新潟市の除雪作業を支援するため、除雪車を貸し出しました

新潟市では、2月3日からの降雪が、昭和58年度（59豪雪）以来26年ぶりとなる大雪となり、2月4日には積雪深81cmを観測しました。

新潟市が保有する除雪機械のみでは道路の除雪に時間がかかることから、2月9日、新潟市から要請があり、国土交通省北陸地方整備局は、除雪車を3台貸し出しました。

北陸技術事務所では、国の除雪機械が故障した場合の代替車として保有しているロータリ除雪車2台（130PS級1台、250PS級1台）を貸し出しました。

2月9日夜間より、新潟市土木部東部地域土木事務所管内（新潟市東区、中央区及び江南区の国道、県道）において、除雪作業が行われています。

なお、北陸技術事務所からの除雪車の貸し出しは、新潟県、長岡市、小千谷市、川口町に貸し出しを行った「平成18年豪雪」以来のことになります。

【作業状況】



運搬排雪作業（注1）

主要地方道新潟亀田内野線
（新潟市東区中興野地先）



拡幅除雪作業（注2）

主要地方道新潟村松三川線
（新潟市東区一日市地先）

（注1）運搬排雪作業：家屋が多く立ち並ぶ市街地では、路外や歩道に雪を置くことができません。運搬排雪作業は、ロータリ除雪車やトラクタショベルで、雪をダンプトラックに積み込み、雪捨て場に捨てることで、車道幅員と堆雪幅を確保する作業です。

（注2）拡幅除雪作業：道路の除雪を繰り返すと、路側に寄せられた雪はしだいに大きくなり、車道を狭めます。拡幅除雪作業は、路側に寄せられた雪を雪堤に積み上げるか、路外に投雪して、車道幅員を確保するとともに、次の堆雪幅を確保する作業です。

[担当：施工調査課]